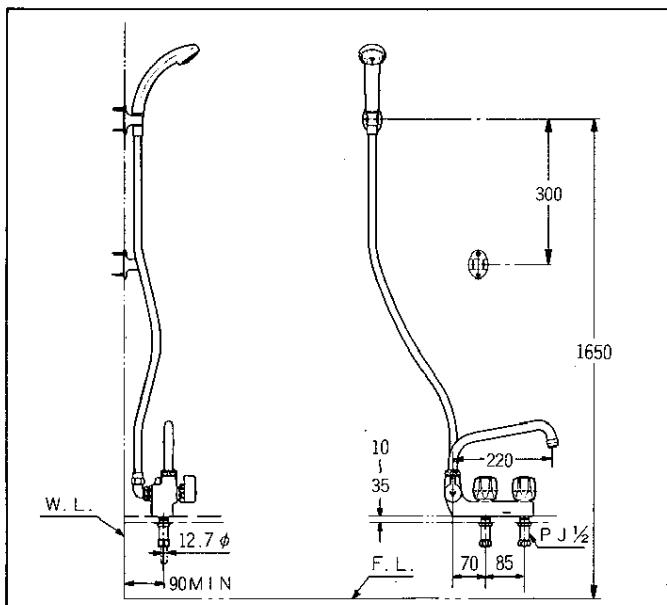


2バルブシャワーバス金具取付説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

完 成 四

一般用 TM116CSR TM116CSL
寒冷地用 TM116CSR UZ TM116CSLU



使 用 条 件

1. 使用水压

(1) ガス瞬間湯沸器と組合わせる場合

給水圧力—— { 最低必要水圧………(表参照)
最高水圧……… 7.5kgf/cm²

湯沸器号数	最 低 必 要 水 压	
8号	湯沸器の最低作動水圧	+0.6kgf/cm ²
10号	//	+0.8kgf/cm ²
12号	//	+1.1kgf/cm ²

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

5号	湯沸器の最低作動水圧	+0.4kgf/cm ²
8号	//	+0.7kgf/cm ²
10号	//	+0.9kgf/cm ²

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 湯側ハンドルは全開
 - 湯沸器温度調節は「高温」に設定
 - 夏季水温 25°C
 - 給湯配管長 5 m
 - 吐水温度 42°C

(2)石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力—— { 最低必要水圧 0.5kgf/cm²
最高水圧 7.5kgf/cm²

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3.湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。

配管後は必ず保温材を巻いてください。

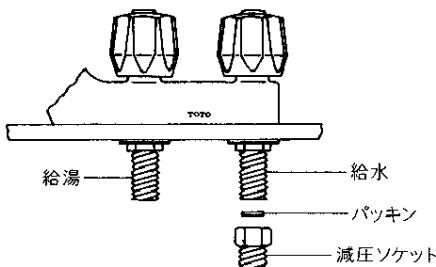
器具の取付け

1.給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2.減圧ソケットの取付け

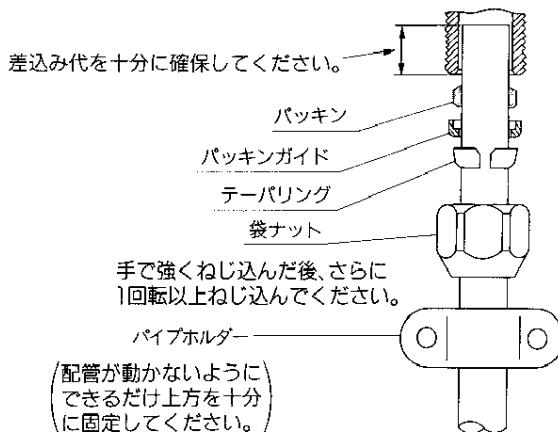
給水圧力が 2.0kgf/cm^2 以上の場合には本体の給水側に、同梱の減圧ソケットをねじ込んでください。



*取付後の保守点検ができるように必ず“点検口”と止水栓を設けてください。

3.給水・給湯パイプの接続と固定

*テーパリング・パッキンガイド
パッキンの順番・向きをまちがえないでください。



お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。

又、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

- 切替ハンドルをシャワ側（左）に回しシャワヘッドを上部ハンガーに掛ける。
- 湯・水ハンドル及び湯側・水側・混合室の水抜きコック3ヵ所を開きホース内の水を抜く。
- 水が出なくなったら切替ハンドルをカラン側（右）に回しカラン内の水を抜く。

分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検個所		□内は寒冷地用の場合
故障	点検個所	
水が止まらない	湯水ハンドルを閉じても水が漏れる	湯及び水側のハンドル部を分解して“シート”及び“パッキン”的ごみかみ、傷などを点検する
	切替ハンドルを“止”にしたとき水が漏れる	切替部を分解しシャワ側、カラシ側の“シート”及び“パッキン”的ごみかみ、傷などを点検する
切替ハンドル部から水が漏れたり、ハンドルが自然に回る		切替ハンドルをはずしプライヤなどで締付ナットを締め増す